

全国で 高病原性鳥インフルエンザ続発！ (家きん国内29～31例目)

【概要】

- ・29例目：山形県鶴岡市 採卵鶏 約2.7万羽
疫学関連農場：山形県庄内市 1農場 約4万羽
- ・30例目：鹿児島出水市 採卵鶏 約6.3万羽
- ・31例目：愛知県豊橋市 あひる(あいがも)約1,000羽
疫学関連農場：愛知県豊橋市 1農場 約1,000羽
簡易検査および遺伝子検査で陽性。
高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認。

＜今年も過去に例のないペースで発生が続いています＞

※今シーズンは、高病原性鳥インフルエンザの発生が史上初となる10月に確認されて以降、現在もかつてないペースで発生が継続しています。

※また、過去に一度も発生がなかった地域でも発生しており、
今後も全国どこでも発生する可能性があります。

※今後、年末年始や春節を迎え、人の移動の増加が見込まれることから、
決して油断できません。

※農場にいる飼養衛生管理者、従業員一人一人が、
自分たちの農場は自分たちで守るという心構えをもって
取り組むことが重要です。

- ① 敷地内や鶏舎の周りの消毒の実施
- ② 農場に入る際の専用衣服と長靴への交換、
鶏舎に入る際の専用長靴への交換とともに、交換の前後で
使用する長靴等が交わらないようにする
- ③ 手指の消毒の上、長靴を消毒するときは
汚れをしっかりと落としてから実施
などをおこたらないよう行動を徹底!

鳥インフルエンザの情報を掲載した農林水産省ウェブサイト：<http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/index.html>

異状をみつけた場合には直ちに山梨県西部家畜保健衛生所まで
電話・・・0551-22-0771 FAX・・・0551-22-6728
夜間、土日・休日の連絡は・・・090-5564-1018

農場周辺の高病原性鳥インフルエンザのウイルスが 非常に多くなっています！

全国的に高病原性鳥インフルエンザの発生が確認されています。

これまで以上に、本病の発生予防を徹底しましょう！

家きん舎への人や、野生動物によるウイルスの侵入を防ぐことが
特に重要です！

発生予防対策の特に重要なポイント

- 農場内や家きん舎周囲の消毒は毎日行いましょう！
- 家きん舎等への出入り時に消毒の実施・長靴の交換が適切にできているか、動線が交差していないか、今一度、点検・確認をお願いします！
- 長靴はしっかり汚れを落としてから消毒し、踏込消毒槽などの消毒薬は少なくとも毎日、汚れたらその都度、交換しましょう！
- 農場内や家きん舎の周囲にはウイルスが侵入する経路が多く存在していますので、今一度、点検・確認をお願いします！



◆ 飼養家さんの毎日の健康観察を念入りに行い、異状を見つけた場合は、直ちに最寄りの家畜保健衛生所に連絡してください。

農林水産省HP「鳥インフルエンザに関する情報」→

